

3月 学校評価アンケート結果について

平成19年度も、あとわずかととなりました。子どもたちにとりましては、この1月以来、日々の授業に加え、「鴨川を走る会」や「作品展」「防火教室」「卒業旅行」「生き方体験学習（スチューデントシティー）」「6年生を送る会」などさまざまな行事を経験し、間もなく、卒業生にとっては卒業式を、在校生にとっては修了式を迎えます。また保護者の皆様には、これまで本校教育活動に温かなご支援、ご協力をいただきありがとうございました。さて、本年度最後の学校評価をお願いし、このたび集計結果をお知らせすることになりました。多くの方々から回答をいただき、お礼申し上げます。

アンケート実施期間：3月3日～3月10日 回収率：保護者70.8%

(注) 表やグラフの見方：表の項目上段が保護者、下段が児童への調査項目です。(教職員は保護者の内容とほぼ同じです) グラフについては、下段が児童、中段が児童、上段が教職員の集計結果を表しています。

評価説明 A：あてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

はじめに

第2回目の今回も児童、保護者と教職員の三者について調査しました。保護者と教職員の項目は、ほぼ同じ内容としました。また、児童向けのアンケートでは、10項目のうち、前回同様保護者向けとほぼ同じ内容が8項目となりました。残り2項目については、表やグラフでは結果を表記していませんが、『いつも気持ちよく、自分からあいさつしている』(A47.1%、B42.9%、C7.6%、D2.5%)『給食当番や日直、そうじや係活動にがんばっている』(A60.5%、B26.1%、C13.4%、D0.0%)という結果でした。

過去2年間の結果と大きく変化した項目は、ほとんど見あたりません。また保護者と児童、教職員の結果についても、概ねどの項目でも、A(あてはまる)とB(だいたいあてはまる)をあわせるとほぼ80%以上となり、類似しています。

その中で、80%に満たない項目は、児童では『教室では、自分から進んで学習している』(73.1%)『部活動、休日の学校行事への参加』(70.6%)『地域行事に進んで参加している』(63.9%)

また保護者では『子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。』(79.4%)『地域行事に進んで参加している』(74.2%)でした。児童、保護者ともにこれらの項目の数値は、前回よりも若干低い値となってきています。

アンケートにお答えいただいて 1

学校は楽しいところ(設問) 7月実施の第1回集計と比較すると児童の結果では(A:56.1% 60.5%、B:35.0% 33.6% C:4.1% 3.4%、D:4.1% 2.5%)とAの回答者が若干増加し、CやDの回答者(8.2% 5.9%)の割合が少し減少しています。Aの増加とC、Dの減少は、学級担任や友だちとの関わりを通して子ども達一人ひとりが、『学校は楽しいところだ』と実感してくれたのではないかと考えます。子ども一人ひとりを大切に作る取組を実践する中で、わずかではありますが肯定的にとらえられなかった子ども達(5.9%)にたいしても、『学校は楽しいところだ』と実感できるように取組を進めていきたいと思います。

学校は学ぶところ(設問) 若干の差はありますが、今年度も保護者結果では設問『分かりやすい授業』AB合計で、95.9%(7月94.9%)でした。児童結果では『勉強がよく分かる』AB合計で91.6%(7月87.8%)でした。また、についても保護者『子どもは意欲的に学習している』ではAB合計で85.6%(7月86.8%)、『教室では自ら進んで学習している』AB合計で、73.1%(7月71.6%)でした。

前回も表記したことで同じことを繰り返すようですが、大人が働きかけなくても自発的に自ら学習に取り組む子どももいます。でも大半の子どもは、大人が様子を見ていたり、ちょっとした声かけをしたりするとがんばり始めるものです。自分を見守ってくれる人、困りごとを相談できたり、あるいは、一緒に考えてくれる人。そんな人がいる家族の中で生活する子どもほど、自分でもやる気を持って取り組むものです。

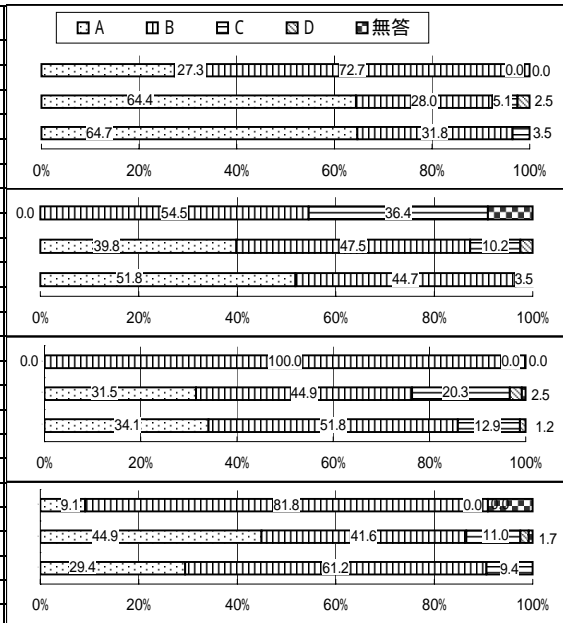
これは温かい家族のふれあいを通して、子どもたちの心を豊かに育てること、そして『家庭を学びの環境に』することを訴えています。さらに以前からお伝えしていますが、家庭学習の習慣化については、

「早寝 早起き 朝ごはん」をはじめ、生活リズムを整え、決まった場所と時間に学習に集中できる環境を設ける。認め、励まし、対話のある温かいふれあいの場を設ける。

ということも大切です。進んで学ぼうとする力は、子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日学習に取り組むことで育つのではないのでしょうか。

平成19年度 3月学校評価アンケート集計結果

項目	評価	保護者	児童	教職員
子どもは、楽しく学校に行っている。	A	64.7	64.4	27.3
	B	31.8	28.0	72.7
	C	3.5	5.1	0.0
	D	0.0	2.5	0.0
毎日楽しく学校に通っている。	無答	0.0	0.0	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
	A	51.8	39.8	0.0
	B	44.7	47.5	54.5
わかりやすい授業が行われている。	C	3.5	10.2	36.4
	D	0.0	2.5	0.0
	無答	0.0	0.0	9.1
	計	100.0	100.0	100.0
学校の勉強はよくわかる。	A	34.1	31.5	0.0
	B	51.8	44.9	100.0
	C	12.9	20.3	0.0
	D	1.2	2.5	0.0
子どもは、意欲的に学習している。	無答	0.0	0.8	0.0
	計	100.0	100.0	100.0
	A	29.4	44.9	9.1
	B	61.2	41.6	81.8
教室では、自分から進んで学習している。	C	9.4	11.0	0.0
	D	0.0	1.7	0.0
	無答	0.0	0.8	9.1
	計	100.0	100.0	100.0
学級は明るく落ち着いており、子ども同士、仲が良い。	A	29.4	44.9	9.1
	B	61.2	41.6	81.8
	C	9.4	11.0	0.0
	D	0.0	1.7	0.0
学級はみんな明るく仲が良い。	無答	0.0	0.8	9.1
	計	100.0	100.0	100.0



子どもは、部活動やチャレンジ事業、ふれあい土曜塾推進事業など、学校で行われる取組に進んで参加している。	A	16.5	32.2	0.0	
	B	62.4	40.7	63.6	
	C	16.5	19.5	27.3	
	D	4.6	5.9	0.0	
	無答	0.0	1.7	9.1	
部活動や土曜日に学校で行われる行事に進んで参加している。	計	100.0	100.0	100.0	
	A	45.9	45.8	18.2	
	B	50.6	43.2	72.7	
	C	3.5	10.2	9.1	
	D	0.0	0.8	0.0	
無答	0.0	0.0	0.0		
校舎内外は、整理整頓されている。	計	100.0	100.0	100.0	
	A	30.6		9.1	
	B	62.3		90.9	
	C	7.1		0.0	
	D	0.0		0.0	
無答	0.0		0.0		
学校内外は安全が保たれ、子どもたちが安心して活動できるように配慮されている。 (保護者・教職員アンケートだけの項目)	計	100.0		100.0	
	A	48.2		27.3	
	B	47.1		72.7	
	C	4.7		0.0	
	D	0.0		0.0	
無答	0.0		0.0		
学校・学級・給食・保健等のたよりで、学校の様子がよくわかる。 (保護者・教職員アンケートだけの項目)	計	100.0		100.0	
	A	25.9		18.2	
	B	64.6		72.7	
	C	7.1		9.1	
	D	2.4		0.0	
無答	0.0		0.0		
学校と家庭や地域との結びつきが、様々なところでうまく図られている。 (保護者・教職員アンケートだけの項目)	計	100.0		100.0	
	A	25.9	56.8	72.7	
	B	57.6	22.9	18.2	
	C	14.1	13.6	0.0	
	D	1.2	5.9	0.0	
無答	1.2	0.8	9.1		
子どもは、家庭学習の習慣が身に付いている。 家庭学習は、いつもきちんとしている。	計	100.0	100.0	100.0	
	A	10.6	24.6	18.2	
	B	56.5	37.2	36.4	
	C	27.1	26.3	27.2	
	D	5.8	10.2	18.2	
無答	0.0	1.7	0.0		
PTA行事や地域行事に積極的に参加している。 地域の行事に進んで参加している。	計	100.0	100.0	100.0	

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない
数値の処理上、各割合の合計が100%にならない場合(99.9や100.1%)があります。

アンケートにお答えいただいて 2

休日行事とこどもの生活(設問)

7月の調査と比較すると、休日の学校行事等への参加状況について、保護者80.4%(7月86.8%)、児童70.6%(7月79.7%)と前回の結果と比較して、一番変化のあった項目です。

同様に、地域行事への参加状況については、保護者74.2%(7月78.6%)、児童63.9%(7月68.3%)でした。これらの項目については、「必ずしも参加しなければならないということではなく、休日の過ごし方の選択肢の一つとして活用」とお伝えしています。

子どもたちが休日を楽しく有意義に過ごすために、六条院校下では、PTA・学校関係の休日行事や少年補導委員会等地域諸団体による休日行事が数多く企画、運営されています。学校で同じクラスの友達同士の活動とは異なり、父母や祖父母あるいは地域の方々など、さまざまな人とのふれあいの中で、教室での授業とは違った内容に取組み、休日を有意義に過ごしてもらえたらと思います。

その他(『あしたのために』12月号より)

過日お配りいたしました『あしたのために』12月号に「家庭での生活習慣と家庭学習が学力の鍵～全国学力・学習状況調査から見えること～」と題する記事が掲載されていまして、その一部をご紹介します。

「朝食を食べる子」「読書時間が長い子」「家で学校での出来事について話をする子」「学校の規則・きまりを守る子」「人の気持が分かりたいと思う子」は、(調査の)正答率が高いという傾向が出ています。

「早寝 早起き 朝ごはん」に代表される基本的な生活習慣の確立、あいさつできることや礼儀正しい態度を取れることなどの規範意識の涵養、読書に親しむことなどが学力をつけるための土台としても重要だということがわかります。

テレビゲームやインターネットを2時間以上する子どもは、2時間未満の子ども達よりも学力調査の正答率が低くなっています。長時間ゲームをすれば、そのぶん学習時間や睡眠時間が減りますから、決して好ましい生活習慣や学習習慣とはいえません。この機会にご家族で日頃の生活習慣を振り返り、できるところからは是非実践してください。

おわりに

いよいよ冬休みです。冬休みの過ごし方については、各学級で指導をしています。休み中は、自宅で過ごす時間が多くなりますが、規則正しく、健康で安全な毎日を過ごしていただくことを願っています。また、夏休みほど課題や宿題は多くないですが、計画をしっかりたて早めに仕上げしてほしいものです。

なお、今回のアンケート結果の中で、11項目の内容以外にも、学校として検討していくべきこととお書きいただきました。このアンケートについては12月18日～20日の個人懇談会の資料としても活用し、気になる点については懇談内容にも盛り込んで行いました。今回の結果をこれまでと同様に、今後の六条院小学校の教育活動に生かし、保護者や地域の方々とともにより良い学校づくりに励んでいきたいと思ひます。

この1年間もまた、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、年の瀬を迎えることができました。来年1年の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしますとともに、引続き六条院教育へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。